

3. 運動部活動における大会の在り方見直しの実態に関するヒアリング調査

3.1. 調査目的

少子化等が進展するなかで、運動部活動にかかる大会を持続可能なものとしていくための方向性を探るために、競技団体主催大会等も含めた中学生年代の大会の在り方見直しの実態等を把握し、整理・分析することを目的とした。

3.2. 調査方法・概要

大会の運営側ならびに参加側を含めた 5 つの対象区分において、2 者程度ヒアリングを実施し、大会運営において実施されている工夫事例や現状の課題、要望等を把握した。

ヒアリング結果については、大会における工夫・改革事例ならびに、今後の大会の在り方見直しにおける論点が抽出できるように取りまとめた。(図表 3-1)

図表 3-1 ヒアリング調査の全体像



3.3. 調査項目

図表 3-1 の通り、ヒアリング対象ごとにそれぞれヒアリング項目を設定した。

図表 3-2 から図表 3-5 にそれぞれのヒアリング項目（詳細）を示す。

図表 3-2 競技団体・中体連へのヒアリング事項

項目	内容
主催大会の基本情報	大会目的、大会開催時期・開催形式、 大会開催規模、大会参加資格、大会規定 等
主催大会の運営方法	大会運営形態、 大会運営リソース確保の方法（ヒト・モノ（場所）・カネ）
主催大会運営における工夫	運営において心がけていること・実施している工夫 - 参加者（主に中学生徒）の視点に立った工夫 （教師の）大会運営の負担を減らす工夫 - 大会を安全・安心・円滑に運営する工夫 等
近年実施した改革	（あれば）近年変更した規定やルールとその理由 ※部活動の地域移行への対応に伴う変更も含む
今後の改革に向けた検討状況	特に部活動の地域移行への対応に向けた検討状況 他団体との議論・調整の有無 等
今後の改革に向けたニーズや課題	現状把握できている課題（困っていること、悩んでいること） 他団体に向けた要望 等

図表 3-3 教師へのヒアリング事項

項目	内容
参加大会の概要	参加大会数（年間） （それぞれの）大会規模、開催時期、参加資格、大会規定等
大会運営の実態 （運営に参加された場合）	どのような方が大会運営を担当していたか その中で教師が担っていた運営上の役割 運営参加における報酬の有無 （教師から見た）運営における課題や要望
参加大会における工夫	参加した大会において感じた工夫 - 参加者（主に中学生徒）の視点に立った工夫 （教師の）大会運営の負担を減らす工夫 - 大会を安全・安心・円滑に運営する工夫 等
参加大会において感じた課題や要望	大会規定やルールに関する要望 大会運営に対する要望 等
近年実施された改革 （ご存知の範囲で）	（ご存知であれば）近年大会側が変更した規定やルールとその理由 ※部活動の地域移行への対応に伴う変更も含む
地域移行に向けた全般の課題や ニーズ等	（教師から見た）部活動の地域移行への対応に向けた検討状況 現状把握できている課題（困っていること、悩んでいること） 他団体に向けた要望 等

図表 3-4 地域スポーツクラブへのヒアリング事項

項目	内容
スポーツクラブにおける 大会参加・引率の実態	大会参加・引率の状況 • どのような大会に参加・引率しているか • 参加・引率にあたってのルール等はあるか 等
スポーツクラブとして大会に 参加する際の課題や要望	大会規定やルールに関する課題・要望 大会運営に対する課題・要望 等
大会主催団体への要望・改革ニーズ	特に部活動の地域移行への対応に向けた検討状況 他団体との議論・調整の有無 等
部活動の地域移行全般に関する課題 やニーズ等	現状把握できている課題（困っていること、悩んでいること） 他団体（スポーツ庁、中体連、教育委員会、競技団体等）に向け た要望 等

図表 3-5 民間事業者へのヒアリング事項

項目	内容
部活動支援事業における 大会引率の実態	部活動支援事業における大会引率の状況 • マッチングした指導者は大会引率も実施しているか （実施している場合） • どのような大会に引率しているか • 教師も引率しているか • 引率にあたってのルール等はあるか 等
部活動支援事業において大会引率を 実施する上での課題や要望	大会規定やルールに関する課題・要望 大会運営に対する課題・要望 等
部活動に関する大会運営への支援の 可能性	部活動に関する大会運営を担う教師の負担軽減支援策の検討状況 部活動に関する大会運営業務受託の可能性 等
部活動の地域移行全般に関する課題 やニーズ等	現状把握できている課題（困っていること、悩んでいること）、 他団体（スポーツ庁、中体連、教育委員会、競技団体等）への要 望 等

3.4. 調査結果

3.4.1. 大会における工夫・改革事例

1) 生徒目線の大会を実現する工夫

- 近年、中学生年代の大会では、生徒の健康面に配慮した取組が進みつつある。
- また、一部の競技団体や地域スポーツクラブの大会では、試合機会確保に向けてリーグ戦も実施している。

対象 生徒目線の大会を実現する工夫 A) 生徒の健康面に配慮した取組	
競技団体	- 競技団体Aでは、第一回目の全国大会で過密日程の影響から足を攣る選手が続出した。そのため、第二回以降は<u>ダブルヘッダーを2日から1日に削減</u>（その結果、会期を4日→5日に延長） - 競技団体Bの大会では、①熱中症対策として<u>試合中に5分の給水時間を確保</u>するほか、②傷害を予防するため、<u>球数制限の導入や選手の検診を実施</u>
都道府県中体連	- A県中体連では、熱中症による緊急搬送が相次いだ年があったため、<u>大会の過密日程を緩和</u>。3日間の会期のうち、以前は最初の半日で総合開会式を実施し、残りの2日半で試合を実施していたが、総合開会式を廃止し、3日間の会期全てで試合を実施 - A県中体連の県大会（サッカー）では、<u>ダブルヘッダーにより足を攣る選手が続出したため、1日1試合に削減</u> - A県中体連では、<u>熱中症対策の備品・医療スタッフの確保のために新たに大会参加費を徴収</u>
対象 生徒目線の大会を実現する工夫 B) 普及層の選手の試合機会確保に向けた取組	
競技団体	- 競技団体Aでは、トーナメント大会で十分な試合数をこなせない普及層の選手を考慮し、①<u>チームの強さに関わらず試合数を担保できるようにすること</u>、②<u>実力差の大きいチーム同士での試合をなくすことを目的に、都道府県大会でリーグ戦を導入</u> - リーグ戦の導入にあたっては、競技団体Aが「リーグ戦ガイドライン」を発出し、その中で都道府県の裁量で決定できる事項を明示することで、都道府県協会による地域の独自性を踏まえたリーグ戦実施を支援
地域スポーツクラブ	- 総合型地域スポーツクラブAが主催する大会では、トーナメント戦・リーグ戦の大会の双方を実施しているものの、<u>1度敗れたチームにも十分に試合機会を確保するため、徐々にリーグ戦の大会を増加させている</u> - さらに、選手の出場機会を確保するため、<u>1校から複数チーム（Aチーム、Bチーム）参加できるようにしている</u>

2) 教師の大会運営負担を軽減する工夫

- 競技団体Aでは、スポンサー収益等を活用し、大会運営の一部を外部委託している。
- A県中体連の大会では（熱中症対策の一環での）開会式の廃止や1日の試合時間短縮によって、結果的に教師の運営負担が軽減されたが、教師の運営負担軽減を目的とした取組は聞かれなかった。

対象 教員の大会運営負担を軽減する工夫	
競技団体	- 競技団体Aでは、スポンサー収益等の収入により、<u>大会当日の運営（受付業務・人員整理業務）に外部のイベント業者を活用</u> - コート上の運営は大会開催地の都道府県協会からの職員等で賄っているが、<u>運営スタッフは希望制で募集した上で、謝礼を支払い</u> - コート上の運営の一部は、大会開催地ならびに近県の高校生スタッフが担当 - 競技団体Bでは、来年度から新たな大会スポンサーを獲得予定で、スポンサー収入を原資に運営に携わる都道府県連盟への還元を検討
都道府県中体連	- A県中体連では、熱中症対策の一環で総合開会式を廃止した結果、①総合開会式の運営負担がなくなったほか、②1日あたりの試合時間短縮に伴い、1日あたりの拘束時間が減少。結果として、教員の大会運営負担は軽減された - しかし、<u>外部委託等による教員の運営負担を軽減する取組は、今回のヒアリングでは聞かれなかった</u>

3.4.2. 中学生年代における大会の在り方見直しに向けた論点

1) 引率に関する規定

- （仮に引率が認められたとしても）ユニフォーム着用必須（監督）や特定の保険への加入義務化等の細かな規定が、（教師以外による）単独引率への課題となっているケースも存在する。

対象	引率に係る規定
地域スポーツクラブ	一部競技では、中体連主催大会において、<u>地域スポーツ団体等の引率者に対して公認資格の取得を必須としている場合がある</u>ため、地域スポーツ団体による引率のハードルが高い。
民間事業者	- 引率に係る細かい規定の影響で、部活動指導員の引率が難しい場合がある ➢ 例えば、<u>ある競技の引率にあたっては生徒と同じ高額のユニフォームを着用して参加する必要がある</u>ほか、着用するジャージの色に指定がある部活動もある。こうした、引率に必要な服装の費用負担が引率実施時のハードルとなる場合もある ➢ また引率時には、①民間事業者による補償の方が手厚く、②事務手続きが煩雑であるにもかかわらず、引率者が「スポーツ安全保険」に加入する必要がある。そのため、スポーツ安全保険の費用・手続き面の負担が引率実施時のハードルとなる場合も考えられる

2) 生徒の所属に係る規定

- 各地域において、都道府県中体連主催大会においてもクラブチームへの参加資格を拡大する規定改正が始まっている。
- ただし、生徒の大会における所属と選手登録時の所属の関係整理等をしなければ、生徒の出場機会を限定させてしまうケースも存在する。

対象	（参考）中体連主催大会におけるクラブチーム参加への対応
都道府県中体連	- A県中体連では、令和5年度は（上位大会に繋がる）<u>夏季大会のみクラブチームの参加を認める</u> - A県中体連では、地区中体連の大会運営負担を考慮し、<u>クラブチームの大会参加は県大会から</u>とする（競技ごとに定められたクラブチームの参加枠に応じて、クラブチームが出場可能となっている）

対象	生徒の所属チームに係る規定等
都道府県中体連	- 年度初めに（学校部活動ではなく）<u>クラブチームからの大会出場を選んだ生徒がクラブチームの選抜メンバーから漏れた場合、中体連主催大会への出場機会を失う</u>可能性がある - 団体戦・個人戦が存在している競技では、1チーム当たりの個人戦の出場可能選手数が、団体戦の出場可能選手数に比べて少ない場合がある。その上で、同一大会では団体戦と個人戦で所属は分けられないため、<u>団体戦でクラブチームとして出場すると、個人戦に出場できない生徒が出てしまう</u>点が問題
民間事業者	生徒が学校部活動とクラブチームの双方に所属した場合、<u>クラブチーム・学校部活動のどちらから大会に参加するか課題</u>になりうる

3) 競技団体による持続的な大会運営

- 一部の競技団体では、大会運営人員を確保するため、中学生年代向けの組織を新設し、中学生の試合機会存続を目指している。

対象	競技団体による持続的な大会運営
競技団体	- 競技団体Aでは、全国・都道府県単位で、<u>中学生年代向けの組織を創設</u> - 競技団体Bでは、中体連に頼らず大会の運営人員を確保するため、<u>中学生年代向けの組織を創設し、部活動に意欲的な教員の競技団体へ組み込みを図る</u>

4) 民間企業による大会運営の可能性

- スポンサー獲得や関連事業による収益を認められれば、民間企業でも大会運営受託の可能性はある。
- 既に（小学生向け大会の）大会運営を受託している民間企業も存在する。

対象	民間による大会運営の可能性
民間事業者	- A社では、既にB市の小学生向け大会の実施を受託しており、<u>大会運営ノウハウが既に存在</u> - B市の事例では、市からの補助金と大会スポンサーからの協賛金で大会が運営されている <u>スポンサー収益や関連事業（写真・動画提供サービス等）収益が見込めるため、民間企業が大会を運営することは十分に可能</u> - 部活動地域移行が喫緊の課題となっているため、<u>教育委員会もスポンサー獲得に比較的前向きである</u>

4. 検討会議の実施

4.1. 実施目的

生徒や部活動顧問への過度な負担等への課題に対応するため、大会の在り方を検討する「中学生年代の大会の在り方に関する研究委託事業検討会議」を設置し、有識者や大会等関係主体等からの意見・助言をいただく。

4.2. 実施概要

「中学生年代の大会の在り方に関する研究委託事業検討会議」の実施概要を図表 4-1 にまとめる。

図表 4-1 検討会議の概要

	第 1 回	第 2 回
実施日時	11 月 2 日（木） 10:30～12:00	3 月 22 日（水） 13:30～15:00
議題	【調査方針についての意見交換】 (1) 調査の全体像について (2) 中学生アンケートについて (3) 大会ヒアリングについて (4) 今後のスケジュールについて	【調査結果の報告、とりまとめ方の意見交換】 (1) 調査の全体像について (2) 中学生アンケート結果について (3) 大会ヒアリング結果について (4) まとめ
出席者	高橋 幸平 氏（朝日大学 保健医療学部健康スポーツ科学科 スポーツ教育学 教授） 友添 秀則 氏（公益財団法人 日本学校体育研究連合会 会長）	
開催方法	オンライン会議	

4.3. 主な意見

4.3.1. 第 1 回検討会議における主な意見

区分	概要
1) 中学生アンケート	● 大会の在り方調査であるため、大会に対する生徒の意向に関する設問を中心にした方が良好だろう。 ● 引率を校長の許可なく行えるようにするよう改革を行っている中で、正規の教師がどの程度引率に関わっているのか確認できるとよいのではないか。 ● 顧問教師の指導レベルについても確認できると良好だろう。日本スポーツ協会が H26 に実施した調査において、運動部顧問の 45%は当該競技の経験者でも、体育教師でもないというデータがあるが、生徒側から見た指導レベルを把握できると良いのではないか。 ● 競技レベルとの相関も見ても効果的な分析になるため、中学生にとって全国大会が必要か(あるいは、県大会やブロック大会で十分か)、を端的に把握できると良好だろう。

	● 部活動に関する経験値の差から、学年ごとの回答傾向に差が出ることが予想される。その点を考慮したほうが良いだろう。
2) ヒアリング	● 大会運営を外部委託することの是非について聞いてほしい。大会運営事業に参入したいと考える組織も出てきているので、現場の大会運営者の声を聞いてみてほしい。 ● 地域スポーツクラブが部活動の大会に参加する際の懸念点として、地域スポーツクラブと部活動の競技力のギャップがある。今回の調査全体を通じて、そうした懸念点を洗い出せると、今後の対応に活かせるだろう。

4.3.2. 第2回検討会議における主な意見

区分	概要
1) 調査結果について	● 本調査の内容は、「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）」など検討会議での議論を裏付ける結果を得ている。 ● ただし、一部の調査結果については、断定し難い部分もあるため、当該箇所については慎重な解釈をした方がよいものもある。 ➢ 「先生」についても生徒が学校の先生のみを想定しているか、部活動指導員等も含めて想定しているかで、結果の解釈が変わってくる ➢ 練習日数・時間などが長かった場合についても、技術向上を目指している生徒にとっては、まだ足りないと思っている可能性もある。
2) 今後の調査研究にあたっての示唆	● 本調査で得られたアンケート結果や、ヒアリング内容をどのような提言につなげるかについて、今後、検討が必要である（本調査でのヒアリングは、幾つかの事例を取り上げたものに過ぎないため、一般化することは必ずしも容易でない）。 ● 各地域では、その地域に合わせた検討をすでに進めている場合が多いだろう。適宜、全国的に運用されている仕組みや規制等の撤廃も視野に入れた提言の整理・検討が必要となるのではないかな。

5. 調査研究のまとめ・今後の検討課題等

今年度調査では、主に中学生向けアンケート調査により、全国の中学生年代の大会に関する意向が把握でき、以下の通り「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）」における大会の在り方に関する内容を裏付ける結果となっていることも確認できた。（図表 5-1）

これらの生徒の声も踏まえ、中学校体育連盟、競技団体、スポーツ団体等は、大会の在り方見直しをより一層進めることが期待される。

図表 5-1 アンケート調査から得られた主なファクト

今年度得られた主なファクト（中学生年代アンケート）		検討会議提言における記述（該当部分抜粋）
全国大会をはじめとする大会の在り方	- 全国大会以外にも「順位にこだわらず、純粋にそのスポーツを楽しむことを目的とした大会や試合」も、約 6 割に生徒に求められている。 - 生徒によって大会に関する目標は異なっている。全国大会以上を目指していると答えた生徒は約 2 割。 - 大会で勝つこと以外にも「競技を楽しむこと」や「仲間と思い出を作ること」などの別の目標を同時に持っている生徒がほとんどである。	地域において、自分なりのペースでスポーツに親しみたい生徒や、一つの運動種目だけでなく複数の運動種目のスポーツを経験できる活動に参加している生徒等の成果発表の場としてふさわしい大会の整備を進める。
大会に参加する生徒の安全確保	- 大会参加日数が多く、身体に負担を感じたことが何度も/時々あった生徒は全体の約40% - 大会参加日数が多い生徒ほど身体に負担に感じていた生徒が多い。	雨天が続くなどの天候不順により大会日程が過密になり、試合が連続することや、休養日が確保できなくなることがあり、大会に参加する生徒の身体に過重な負担が生じることがあるとの指摘もある。
大会参加の引率	学校教師以外が大会の引率をすることに抵抗のない生徒は全体の約75%で、多くの生徒が学校教師以外の引率でも問題ないと感じている。	日本中体連主催大会において、教師の負担軽減のため、集団競技においても外部指導者による引率を可能とすることが望ましい。

ヒアリング調査においては、先行的な大会の在り方見直し事例を確認することができた。（図表 5-2）

図表 5-2 ヒアリング調査から得られた主なファクト

今年度得られた主なファクト・論点（大会関係団体ヒアリング）	
大会運営への従事	- 一部の競技団体では、スポンサー収益等を活用し、運営の一部の外部委託を実施している。さらに、運営協力を得る教師についても拳手制とし、強制的に運営負担を強いることのないようにしている。 - スポンサー獲得や関連事業による収益を認められれば、民間企業でも大会運営受託の可能性はある。
地域のスポーツ団体等に所属する大会参加機会の確保	- 各地域において、中体連主催大会においてもクラブチームへの参加資格を拡大する規定改正が始まっている。 - ただし大会における所属と選手登録時の所属の関係整理等をしなければ、生徒の出場機会を限定させてしまうケースも存在する。。
全国大会をはじめとする大会の在り方	- 一部の競技団体では、都道府県大会でもリーグ戦を導入し、チームの強さに関わらず試合数を担保できるようにすること、実力差の大きいチーム同士での試合をなくすことを目指している。 - 地域のニーズに合わせた総合型地域スポーツクラブ主催大会が開催されている例も存在する。
大会参加の引率	（仮に引率が認められたとしても）ユニフォーム着用必須（監督）や保険加入必須等の細かな規定が、（教師以外による）単独引率を難しいものになっているケースも存在する。

III. 参考資料

「令和 4 年度大会の在り方見直しに関する中学生向けアンケート」の設問ごとの集計結果を以下に示す。

アンケート回答数

全回答数、ならびに運動部活動経験者の回答数



※「運動部に所属している（していた）」と回答した人数

出所) 令和 4 年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

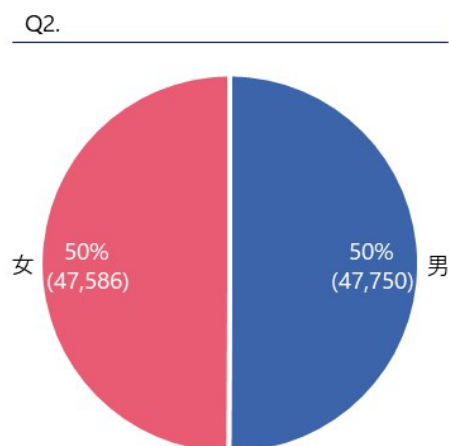
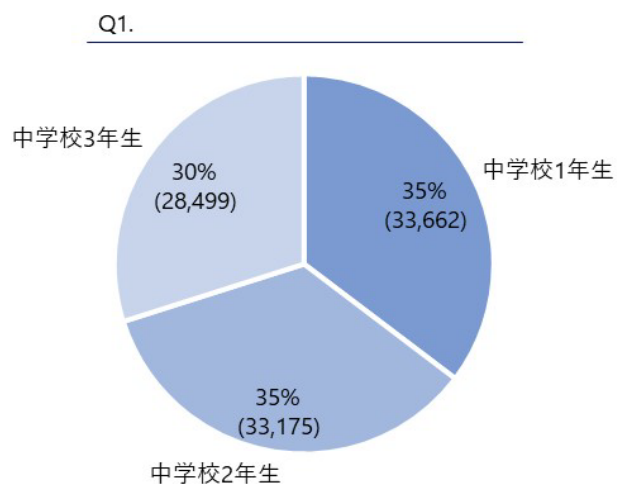
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 0

アンケート結果 | Q1、Q2

回答者の学年・性別

■ Q1. あなたの学年を教えてください。 (n=95,336)

■ Q2. あなたの性別を教えてください。 (n=95,336)



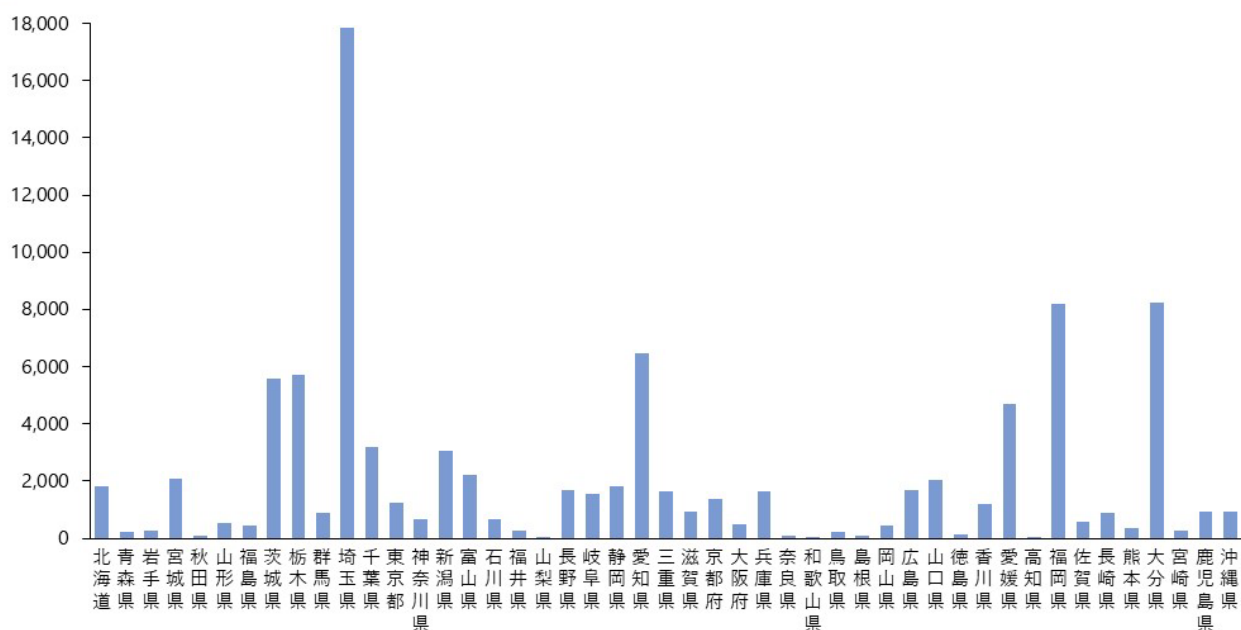
出所) 令和 4 年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 1

アンケート結果 | Q3

回答者の都道府県

■ Q3. あなたの学校の都道府県を教えてください。 (n = 95,336)



出所) 令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

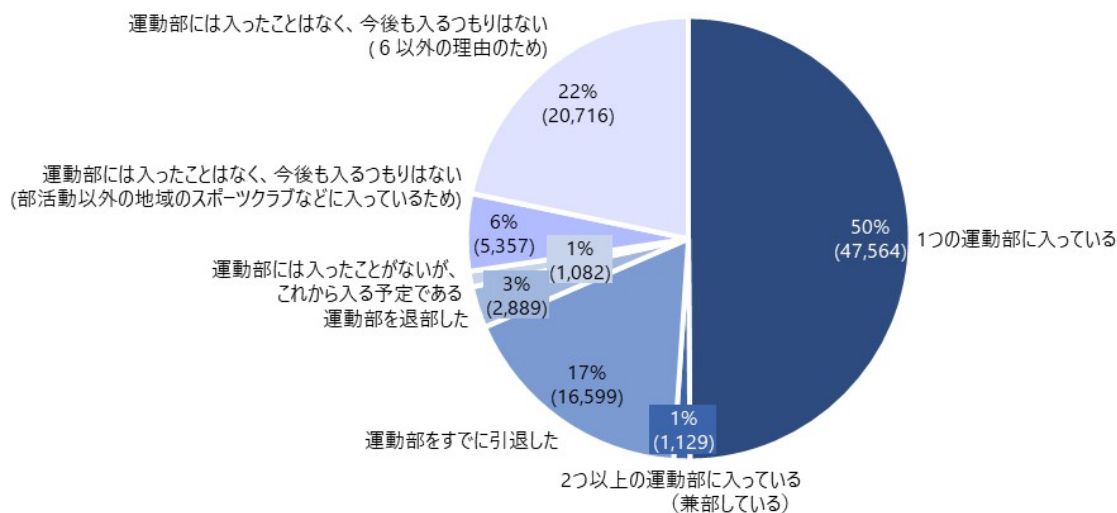
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 2

アンケート結果 | Q8

運動部活動との関わり方

■ Q8. あなたの現在の運動部活動との関わり方について、最も近いものを選んでください。 (n = 95,336)

注) 中学校に入学してからの運動部活動について教えてください。



出所) 令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

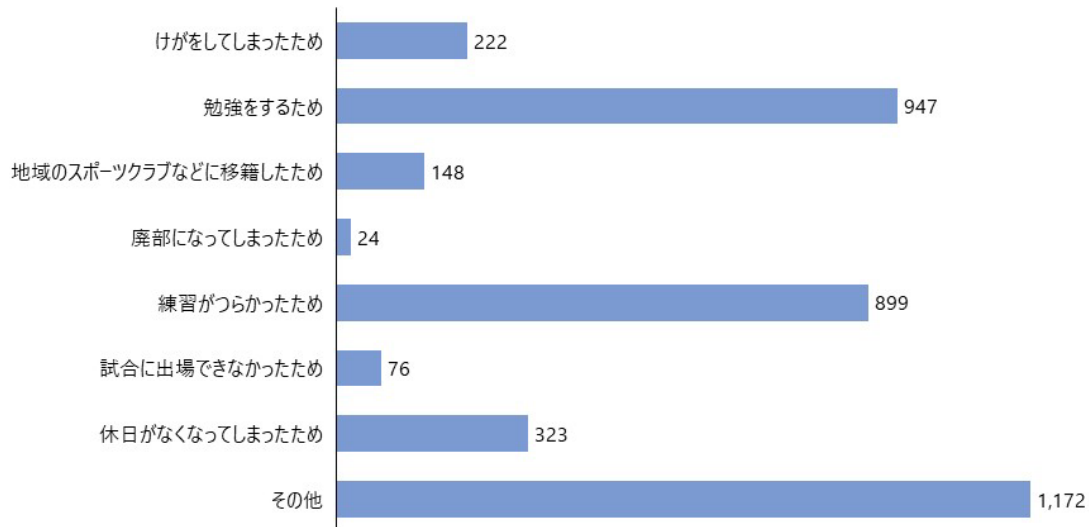
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 3

アンケート結果 | Q9

運動部の退部理由

■ Q9. 運動部を退部した理由を教えてください。（n = 2,889）

注）当てはまるものを全て選択してください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

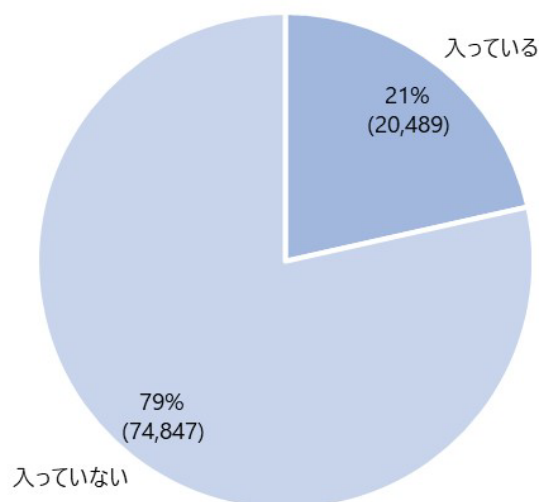
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 4

アンケート結果 | Q10

地域のスポーツクラブ・スクール等への加入有無

■ Q10. あなたは現在、部活動以外で地域のスポーツクラブやスクールなどに入っていますか？（n = 95,336）

注）運動部活動以外で何かスポーツチームなどに入って活動している場合は1を選択してください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

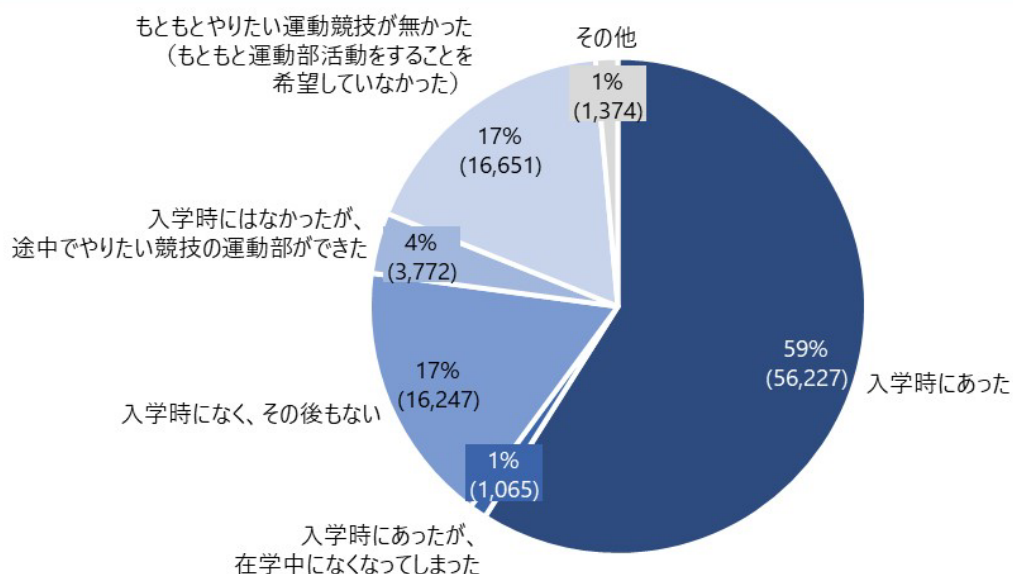
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 5

アンケート結果 | Q11

入りたかった運動部の有無

■ Q11.あなたが今通っている学校には、入りたかった競技の運動部がありましたか？（n=95,336）

注）入部した／しないにかかわらず、やりたい競技の運動部があった場合は1を選んでください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 6

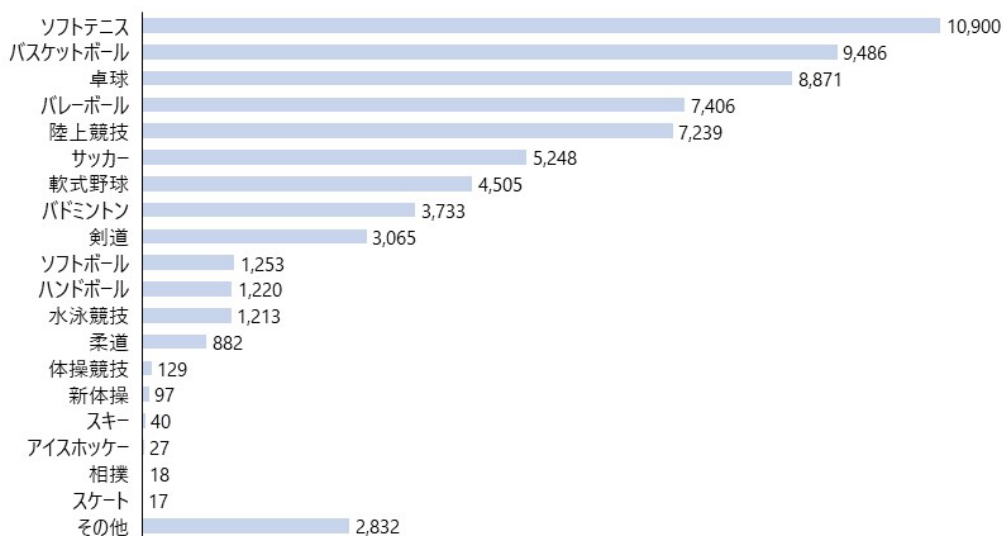
アンケート結果 | Q12

所属部活動

■ Q12. あなたは、何部に所属していますか？（所属していましたか？）（n=68,181）

注）2つ以上の部（競技）に入っている場合は、一番力を入れている競技を選んでください。

注）既に運動部を引退・退部している人は、これまでに一番力を入れていた競技を選んでください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 7

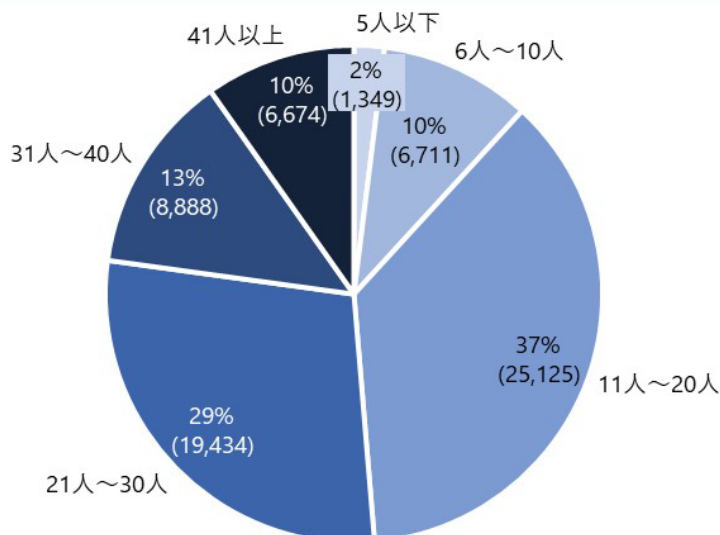
部員数

■ Q13. 部員数は全学年合計で何人くらいですか？（何人くらいでしたか？）（n=68,181）

注）Q.12で選んだ競技の部活動【【Q12の選択内容】】について教えてください。

注）今年度、上記の部活動に所属している人は、今年度部員数が最も多かった時の、人数を教えてください。

注）今年度、上記の部活動に所属していない人は、所属時に部員数が最も多かった時の、人数を教えてください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 8

部活動が休みの曜日

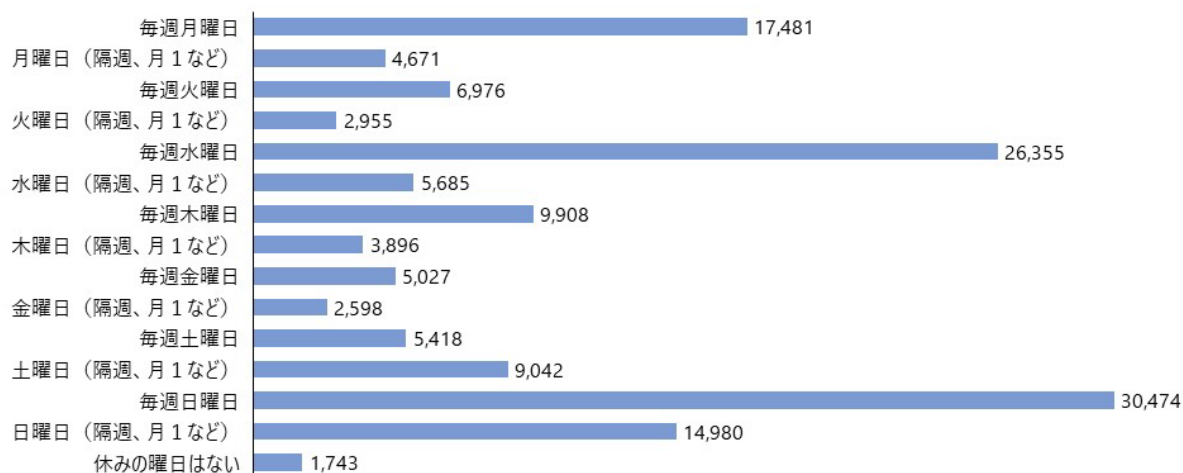
■ Q14. 夏休みやテスト・考査期間などを除く普段の学期中で、部活動が休みの主な曜日（休みだった主な曜日）を教えてください。（n=68,181）

注）Q.12で選んだ競技の部活動【【Q12の選択内容】】について教えてください。

注）この質問では大会や試合、自主練習などは含めずに教えてください。

注）個人的な理由で休んだ曜日ではなく、所属していた部活動自体が休みだった曜日を選んでください。

注）当てはまるものを全て選択してください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 9

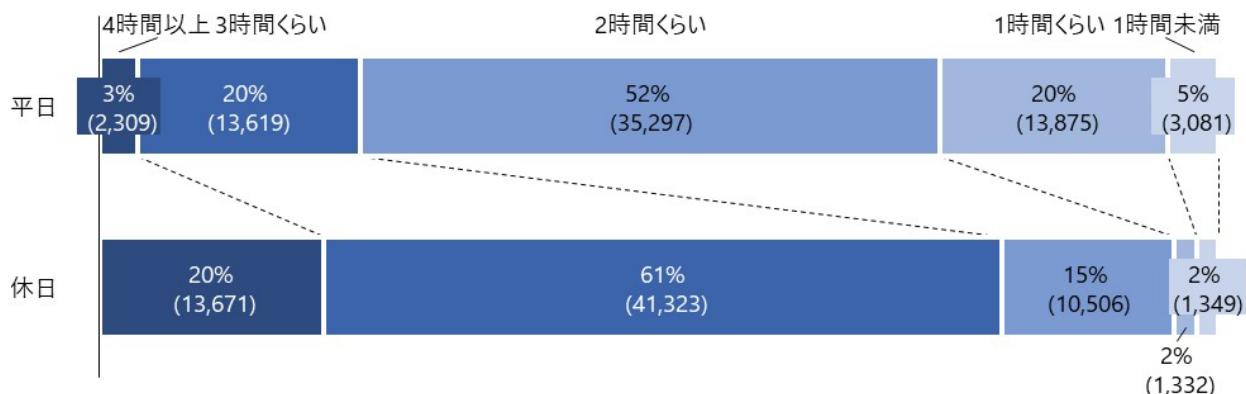
1日あたりの練習時間

■ Q15. 平日(夏休みなどは含めない)の1日あたりの練習時間はどれくらいですか？（どれくらいでしたか？）
(n = 68,181)

■ Q16. 休日(夏休みなども含む)の1日あたりの練習時間はどれくらいですか？（どれくらいでしたか？）
(n = 68,181)

注) Q.12で選んだ競技の部活動【【Q12の選択内容】】について教えてください。

注) 自主練習は含めずに教えてください。



出所) 令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 10

練習への参加割合

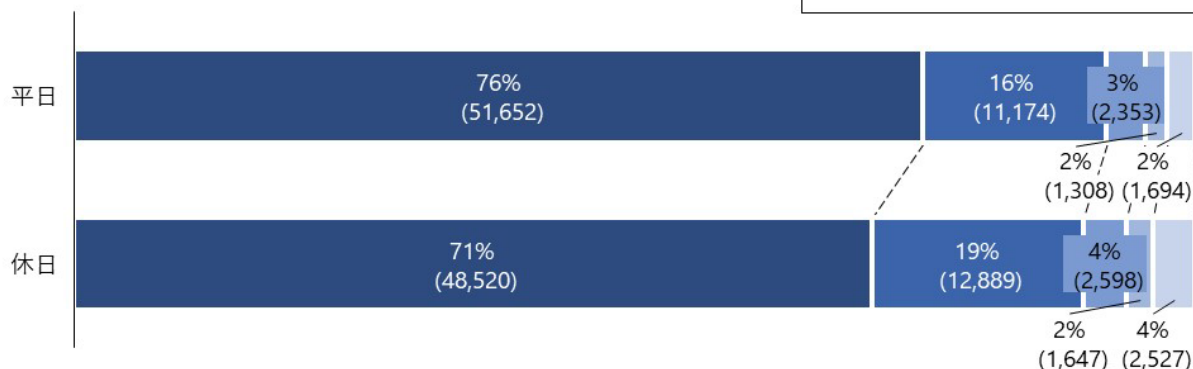
■ Q17. 平日(夏休みなどは含めない)の部活動の練習にはどれくらい参加していますか？（参加していましたか？）

また、休日(夏休みなども含む)の部活動の練習にはどれくらい参加していますか？（参加していましたか？）

それぞれについてお答えください。(n = 68,181)

注) Q.12で選んだ競技の部活動【【Q12の選択内容】】について教えてください。

- 毎回参加している（していた）（9割以上）
- だいたい参加している（していた）（7～8割程度）
- 半分くらい参加している（していた）（4～6割程度）
- あまり参加していない（していなかった）（2～3割程度）
- ほとんど参加していない（していなかった）（1割以下）



出所) 令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

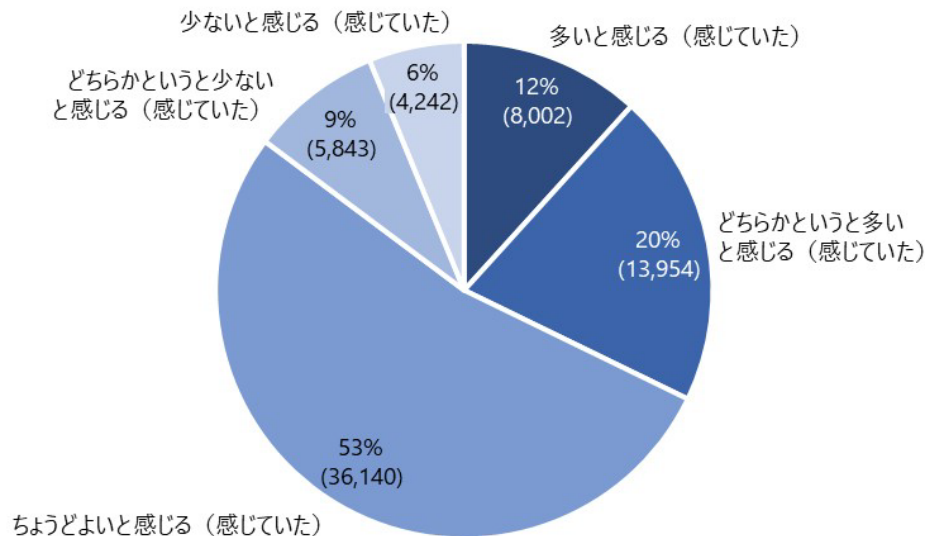
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 11

アンケート結果 | Q18

練習日数の負担感

■ Q18. 普段の練習日数について、どのように感じていますか？（感じていましたか？）（n = 68,181）

注）Q.12で選んだ競技の部活動【【Q12の選択内容】】について教えてください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

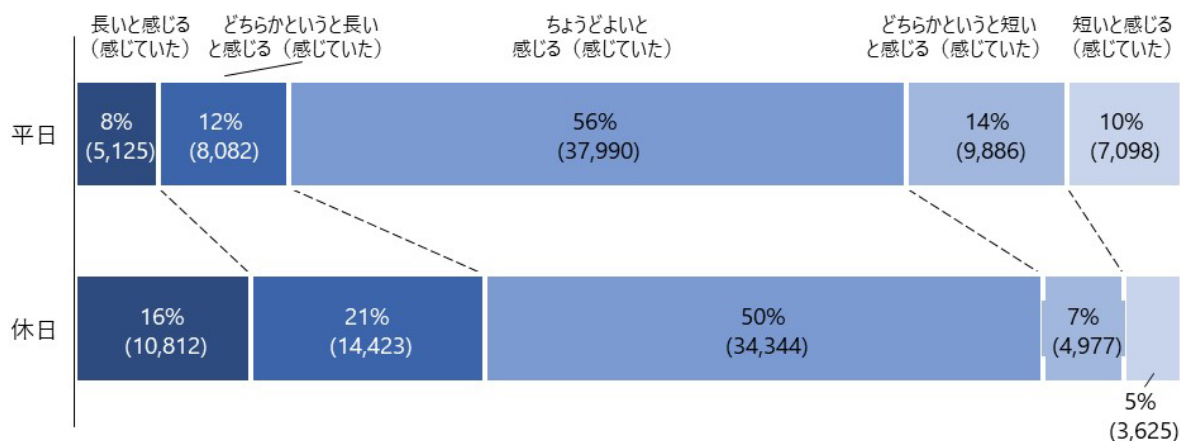
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 12

アンケート結果 | Q19

練習時間の負担感

■ Q19. 平日（夏休みなどは含めない）の1日あたりの練習時間について、どのように感じていますか？（感じていましたか）また、休日（夏休みなども含む）の1日あたりの練習時間について、どのように感じていますか？（感じていましたか）それぞれについてお答えください。（n = 68,181）

注）Q.12で選んだ競技の部活動【【Q12の選択内容】】について教えてください。



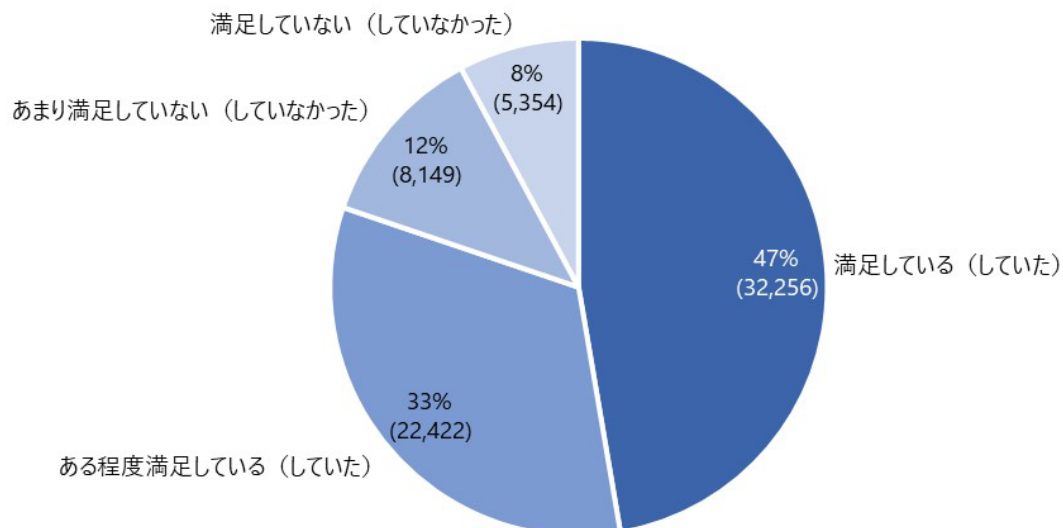
出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 13

先生の指導レベルに対する満足度

- Q20.技術指導する先生（顧問や学校の先生）の指導レベルについてどのように感じていますか？（感じていましたか？）（n=68,181）

注）Q.12で選んだ競技の部活動【【Q12の選択内容】】について教えてください。



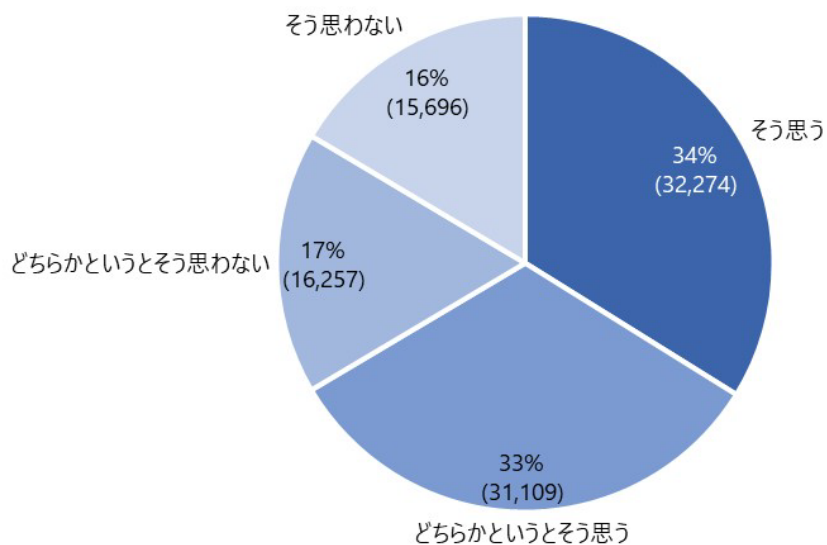
出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 14

複数競技を経験することへの関心度合い

- Q21. 1つの競技だけでなく、いろいろな競技を経験してみたいと思いますか？（n=95,336）

注）部活動だけでなく、学校以外の地域のスポーツクラブなどで経験する場合も含めて教えてください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 15

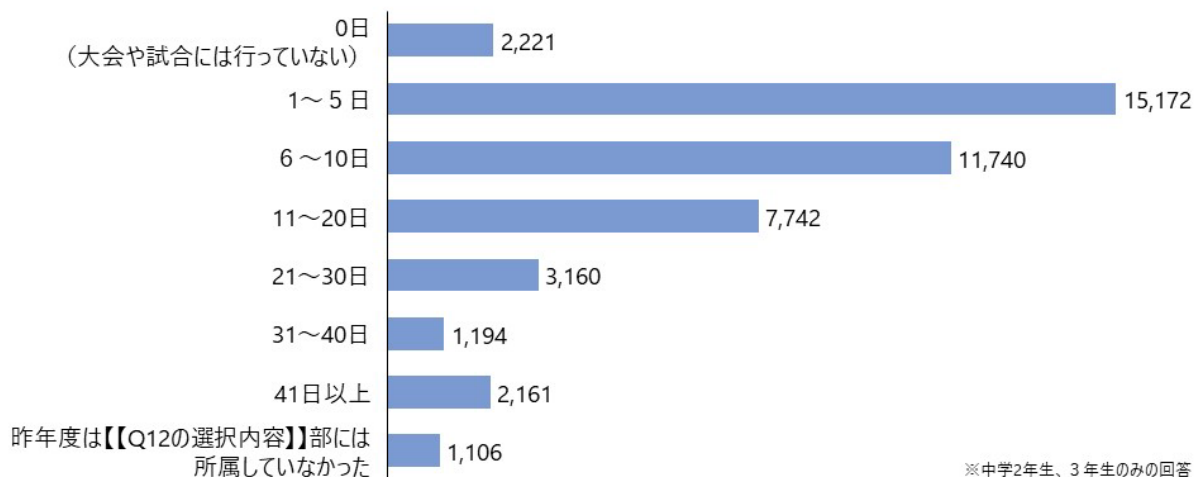
大会・試合の日数

■ Q22. 昨年度（令和3年4月～令和4年3月まで）で、合計何日くらい大会や試合に行きましたか？ （n = 44,496）

注）Q.12で選んだ競技の部活動【【Q12の選択内容】】について教えてください。

注）大会や試合には、公式大会や記録会、交流戦などを含みます。（練習試合は含みません）

注）試合に出場していなくても、部員として大会や試合に行った日は全て含めてください。（応援も含みます）



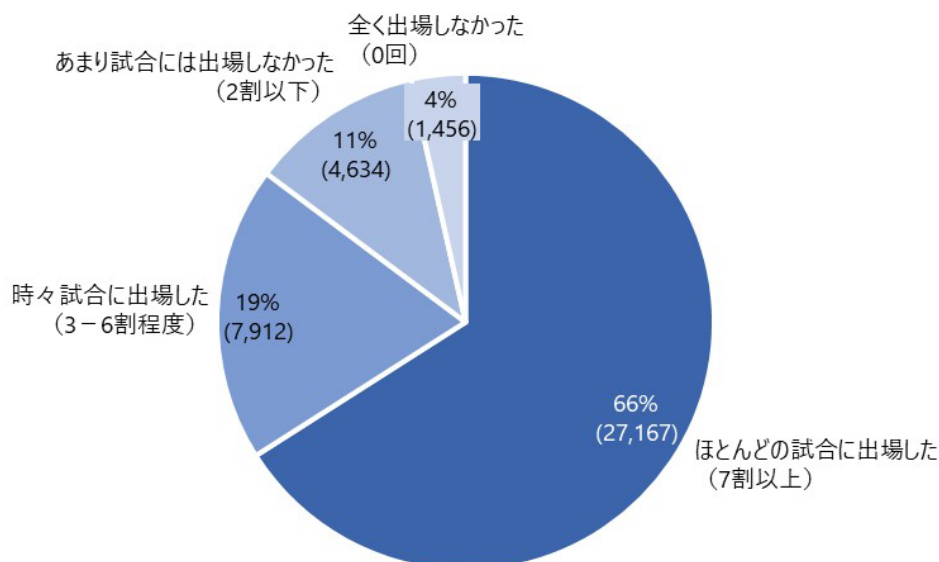
※ 中学2年生、3年生のみの回答

出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 16

大会・試合への出場割合

■ Q23. 前問(Q.22)で回答した大会や試合について、どのくらい試合に出場していましたか？（n = 41,169）

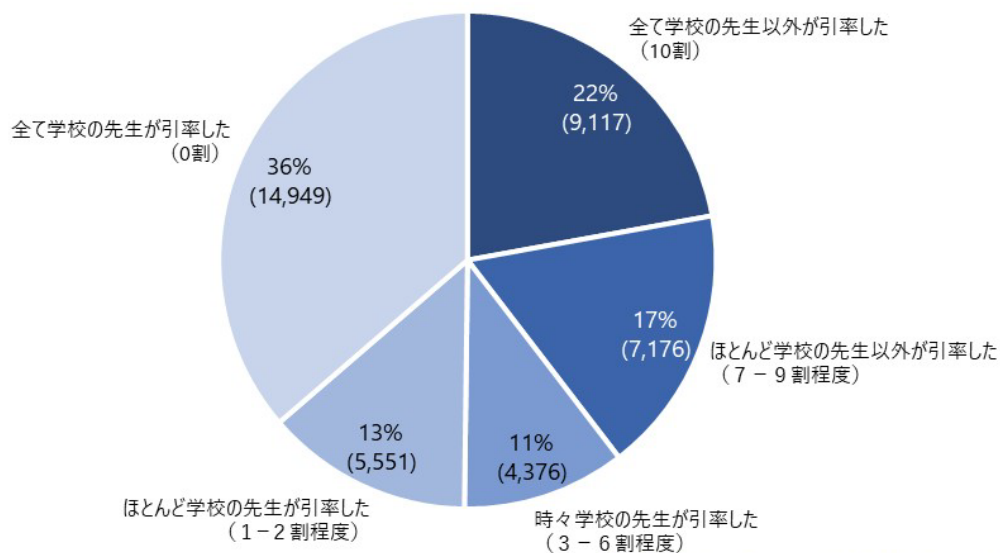


出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 17

学校の先生「以外」が大会に生徒を引率する割合

■ Q24. 前々問(Q.22)で回答した大会や試合について、学校の先生「以外」の指導者が引率した大会や試合はどれくらいありましたか？ (n = 41,169)

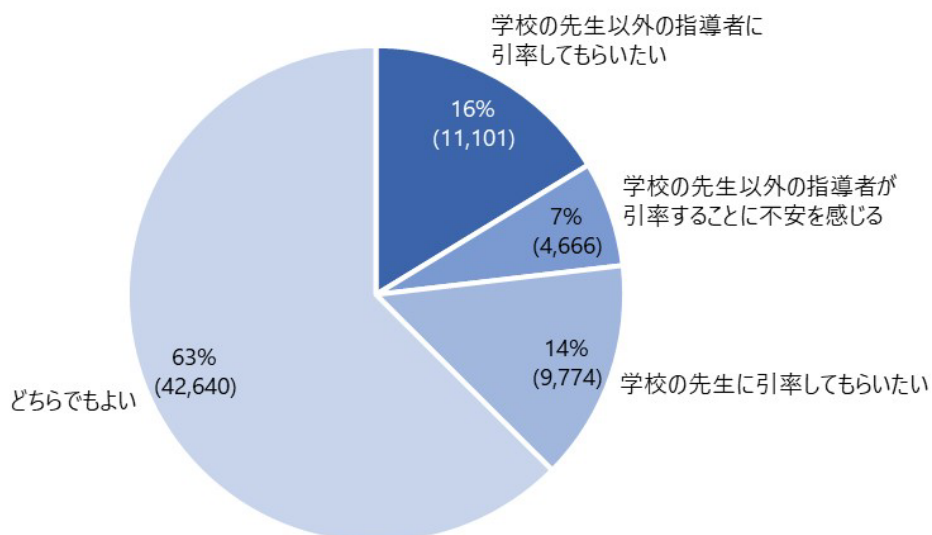


出所) 令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 18

学校の先生「以外」による大会引率への賛否

■ Q25. 学校の先生「以外」の指導者が大会や試合の引率をすることについて、どのように感じますか？ (n = 68,181)



出所) 令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

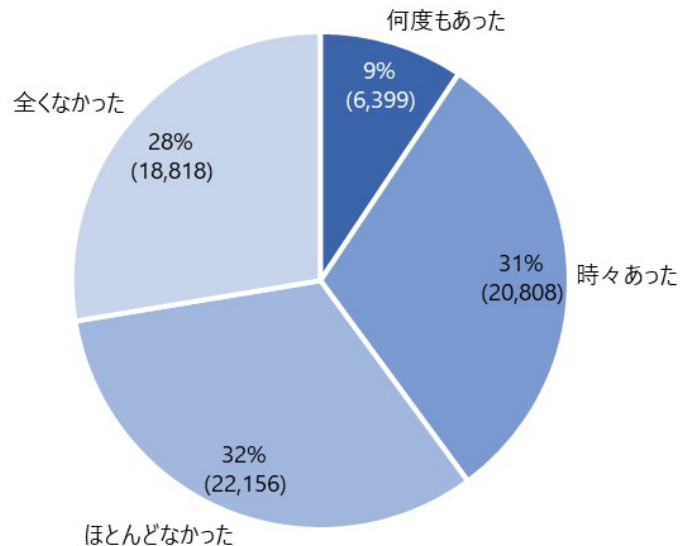
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 19

アンケート結果 | Q26

大会・試合の多さによる負担感

■ Q26. これまでに休日（土日祝 | 夏休みなどは含めない）に大会や試合が多くて、からだを休めることができないなど、負担を感じたことがありますか？（n = 68,181）

注）大会や試合には、公式大会や記録会、交流戦などを含みます。（練習試合は含みません）



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

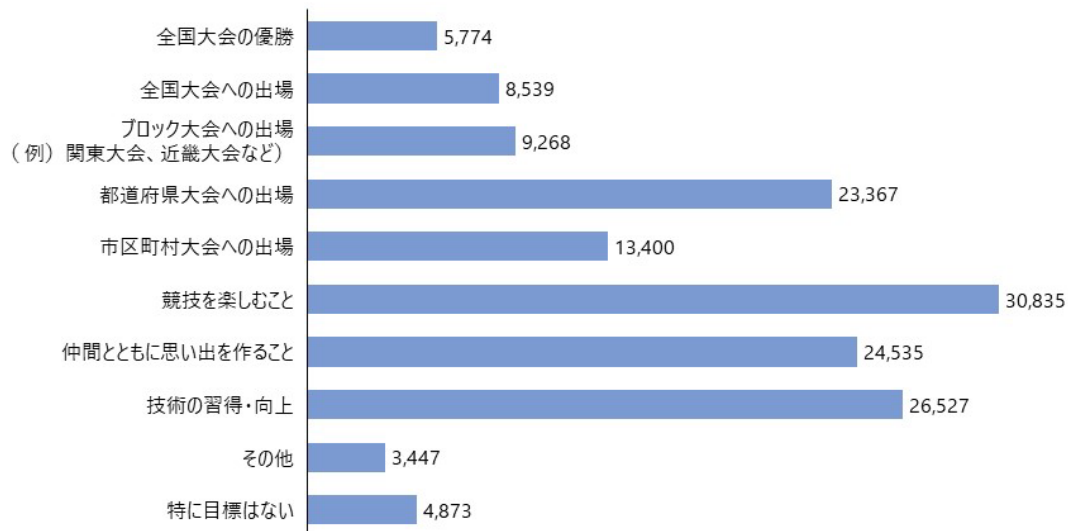
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 20

アンケート結果 | Q27

部活動の目標

■ Q27. あなたの部活動の目標として近いものは何ですか？（何でしたか？）（n = 68,181）

注）当てはまるものを全て選択してください。

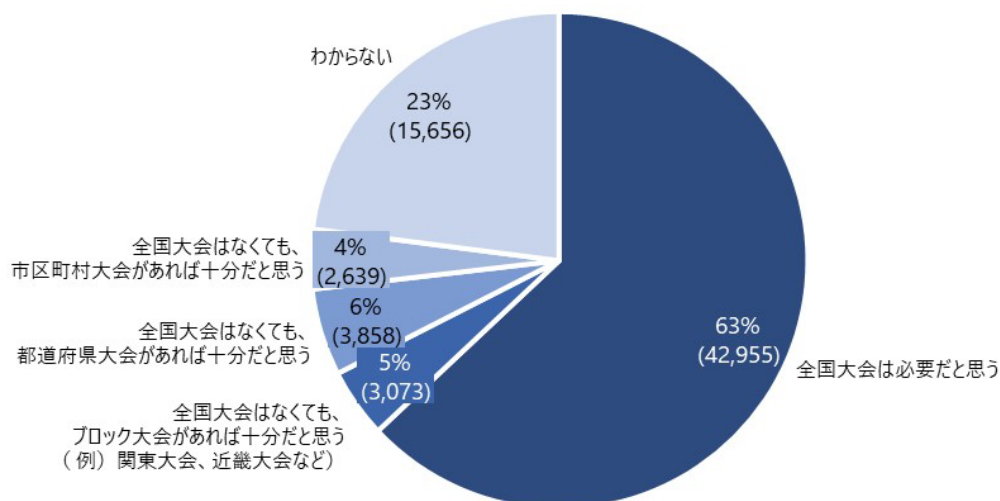


出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 21

全国大会の必要性

■ Q28.部活動の全国大会について、あなたの考えに一番近いものはどれですか？（n = 68,181）



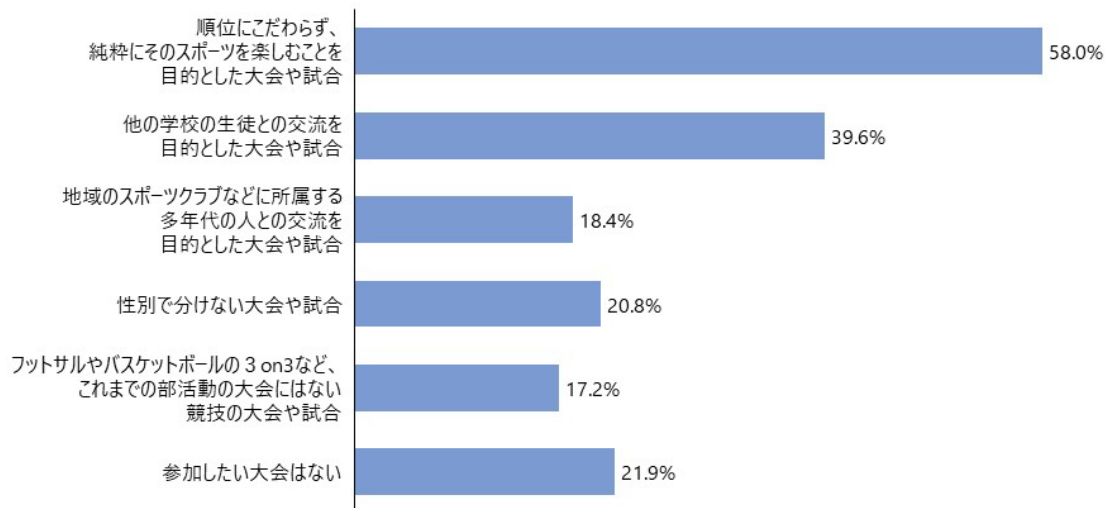
出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 22

参加してみたい大会・試合

■ Q29. 以下のような大会や試合があった場合、参加してみたいものはありますか？（n = 95,336）

注）当てはまるものを全て選択してください。



出所）令和4年度大会の在り方に関する中学生向けアンケート

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. **NRI** 23